

# 人員計画・人件費

2023年1月11日  
北陸電力株式会社

# 【北陸電力】人員計画

- ・ 人員計画および採用計画は、電気事業の安定的な運営を行うため、今後必要となる人員数や退職者の趨勢を勘案して策定しております。
- ・ 原価算定期間においては、志賀原子力発電所の再稼働に向けた対応、電力自由化時代における競争力の強化などを迅速・確実に進めていくための人員増強が必要となりますが、厳しい経営環境を踏まえ、効率化を織り込むことにより、人員を抑制しております。
- ・ 当社は、法改正に伴う定年退職者の再雇用者等を雑給に整理しておりますが、経費対象人員(給料手当)と雑給に係る人員を合わせた全体での人材活用を行っており、両者を合わせた生産性は向上しております。
- ・ 加えて、経費対象人員を抑制し、人件費単価が低い雑給人員を増加させることにより、人件費全体の抑制を図っております。
- ・ 原価算定期間の平均経費対象人員は2,440人と、2020年度実績から▲274人(▲10%程度)減少しており、雑給人員を合わせた全体の人員数も▲247人(▲8%程度)減少しております。

## 【期首・期末平均人員】

(人)

	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (想定)	2023年度 (想定)	2024年度 (想定)	2025年度 (想定)	原価算定期間平均 [2020対比]
経 費 対 象 人 員	2,714	2,657	2,596	2,500	2,424	2,395	2,440 [▲274]
雑 給 人 員 (定年後再雇用者・エリア社員等)	553	549	543	572	583	586	580 [+27]
合 計	3,267	3,206	3,139	3,072	3,007	2,981	3,020 [▲247]

※記載人員数は、いずれも北陸送配電への出向者を除いた値

# 【北陸電力】人件費

- 当社の人件費は、旧一般電気事業者各社と比較※して低廉な実績水準ですが、原価においては、更なる効率化として役員報酬、給料手当の削減やメルクマール等の過去の査定方針を勘案し算定しております。
- 現行原価は採用抑制や退職者数増加により2000年以降で最も従業員数が少ないタイミングであったことや、法改正への対応に伴う雑給の増加により、人件費総額は現行原価対比で増加しております。
- 但し、当社は総務等の共通業務に係る人員を当社に集中配置し、北陸送配電から業務を受託、人件費相当を受領しており、当該収入(電気事業雑収益)を勘案した場合、現行原価対比で減少しております。
- 社員年収は、メルクマールを起点としつつ、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」等で示された賃上げの必要性も勘案して算定いたしました。

※2021年度の有価証券報告書に記載の平均年間給与により比較 (億円)

## 【人件費の内訳】

	今回 A (3か年平均)	現行 B (2008原価)	差引 A - B	主な差異等
役員給与	2	2	▲0	・役員給与をメルクマール水準(2,041万円/人)に基づき算定
給料手当	166	172	▲5	・社員年収はメルクマールを起点に、賃上げ1.5%/年(政府要請3%の半分)を反映し641万円/人で算定
給料手当振替額	▲2	▲1	▲1	
退職給与金	13	21	▲7	・退職給与金をメルクマール水準(2,223万円/人)に基づき算定
厚生費	33	27	7	・保険料率の引き上げによる増
雑給	28	7	21	・定年退職者再雇用および有期雇用者の無期雇用化による人員の増
合計	241	227	15	
[業務受託分控除後]	[220]	[227]	[▲7]	[北陸送配電からの業務受託に伴う電気事業雑収益のうち人件費相当分を控除した場合]

以上